

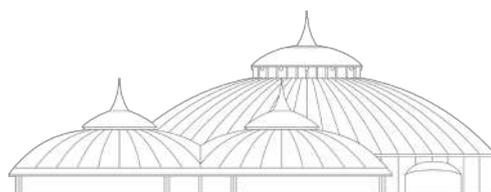
The background features a pattern of small blue dots and larger, semi-transparent blue squares and circles. The dots are arranged in a grid-like pattern, while the squares and circles are scattered across the page, some overlapping each other. The overall color scheme is light blue and white.

Environmental report2022

環境報告書 2022

HIRAOKA & CO.,LTD.

当社について



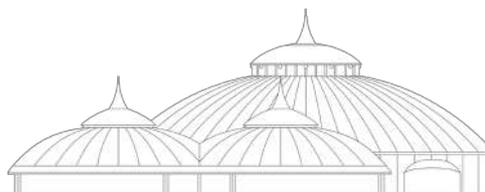
会社概要

名 称	平岡織染株式会社
本社所在地	東京都台東区三ノ輪 1-21-7
代 表 者	平岡利文
資 本 金	48,438 千円
創 業	明治35年8月(1902年)
事 業 所	東京本社、大阪支店、草加事業所、滋賀ターポリン工場(以下、滋賀(タ)工場)

環境保全活動の歩み

2002.12	滋賀(タ)工場が滋賀県の「大気環境負荷低減計画実施事業場」証明書受理
2003.03	草加事業所が埼玉県の「彩の国エコアップ宣言書」受理
2004.01	草加事業所にガスコージェネレーション(550kW)を導入設置、稼働開始
2006.08	草加事業所に蓄熱式排ガス浄化装置(150m ³ /分)を導入設置、稼働開始 ※VOC大気放出量の大幅削減に貢献
2008.11	滋賀(タ)工場の重油焚きボイラ3基を高効率のガス焚きボイラに更新し、同工場の重油使用を全廃
2010.12	草加事業所の重油焚きボイラ2基を高効率のガス焚きボイラに更新し、全社の重油使用を全廃
2012.05	滋賀(タ)工場、湿式電気集塵機(排煙処理装置)追加設置・稼働開始
2013.05	滋賀(タ)工場、脱臭装置新規設置・稼働開始
2014.01	草加事業所の照明器具全てをLEDタイプにリニューアル開始
2015.04	草加事業所に高効率型ロールコーターを導入設置、本格稼働開始
2016.08	草加事業所の蒸気ボイラー(ガス焚き)を高効率型に更新、稼働開始
2018.03	滋賀(タ)工場の帆布熱処理炉を熱媒加熱式高効率型(臭気低減タイプ)に改修
2018.07	滋賀(タ)工場棟の照明器具全てをLEDタイプにリニューアル開始
2018.09	草加事業所の排水処理施設を最新型加圧凝集浮上設備へ更新
2019.01	滋賀(タ)工場の熱媒ボイラ(ガス焚き)を高効率型に更新、稼働開始
2019.03	草加事業所のガスコージェネレーション(550kW)を700kWタイプに更新、稼働開始
2020.02	滋賀(タ)工場の高圧蒸気ボイラ(ガス焚き)を高効率型に更新、稼働開始
2021.02	滋賀(タ)工場の蒸気ボイラ(ガス焚き)2基を高効率型に更新、稼働開始
2021.03	草加事業所および滋賀(タ)工場棟において、照明器具のLEDタイプ切換え計画分の工事を完了

トップメッセージ



「一枚布」に込めた想い

当社は、繊維基材と高分子材料を独自の配合技術と加工技術を組み合わせて一体化させ、軽量で丈夫な「布」等、多種多様な「布」（膜材料製品）を作り提供し続けてきました。

そこには、社会の一部として、繊維産業界において、お客様からのニーズにお応えできる製品をお届けするために当社が一枚岩となって、一致団結・相互扶助してきた100年以上に及ぶ挑戦と試行錯誤を積み重ねた歴史があります。

当社の膜材料製品の一反（いったん）・一枚には、これらすべての歴史が詰まっています。

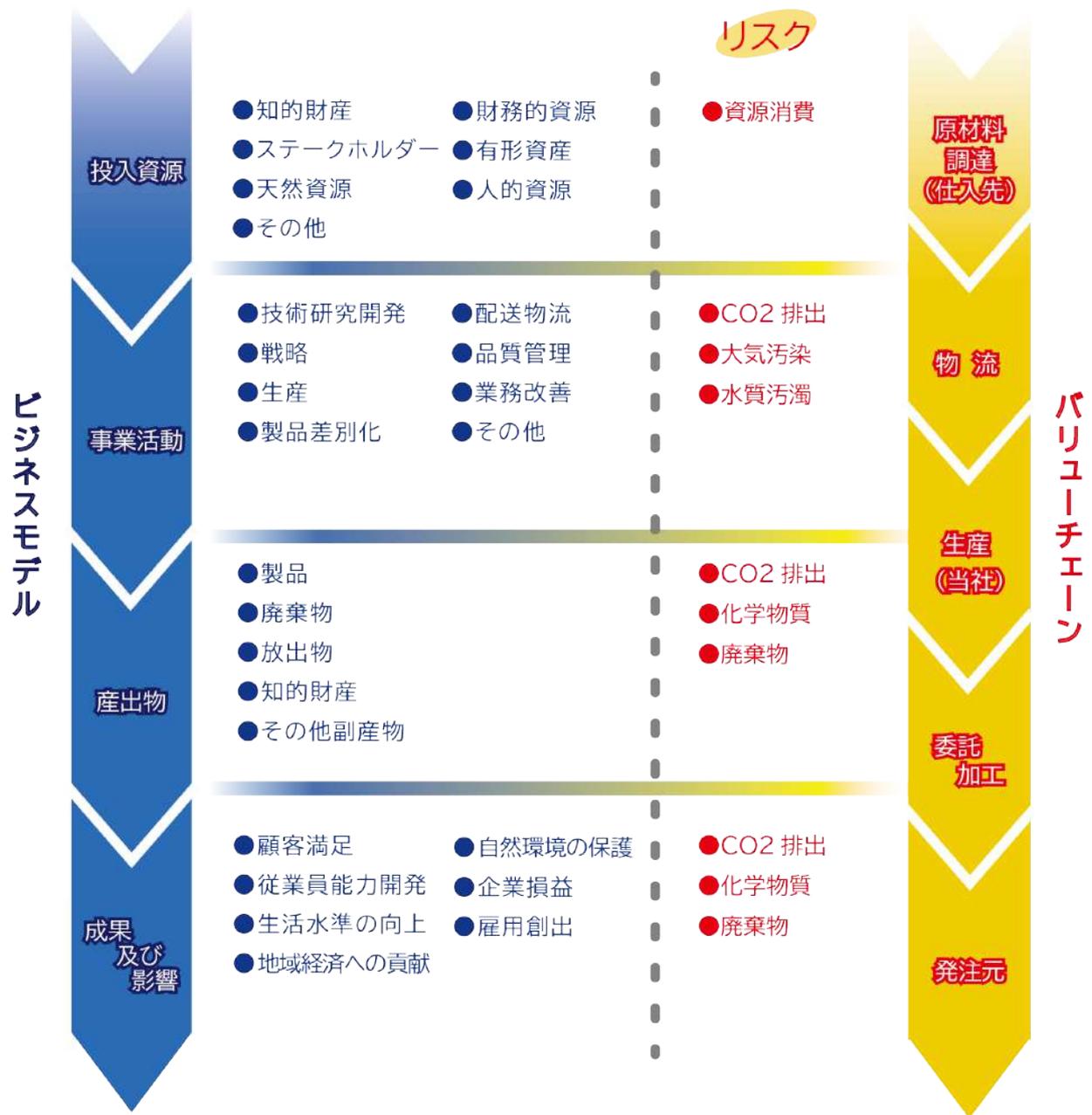
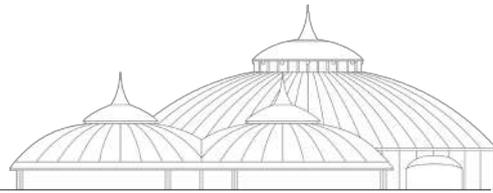
「一枚布」は、その想いを込めた当社の造語です。さまざまな時代のニーズ、お客様のご要望にお応えし、未来のインフラ膜材料を創作し続けながら、地球への環境負荷軽減と循環型で持続可能な、人と環境にやさしい社会の創造という大きな課題にも挑戦し、私たちは次の100年に向けて、企業活動を続けてまいります。

代表取締役社長

平岡利文

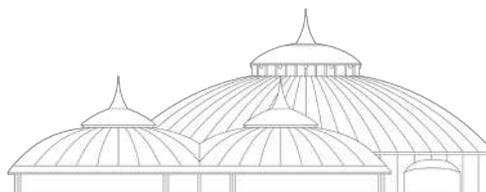


当社のビジネスモデル



当社のビジネスモデル

環境基本方針



平岡織染株式会社は、繊維素材をベースに様々な合成樹脂と組み合わせることで、機能的で使いやすい製品を製造、提供しています。機能性や特性を重視する建築、土木、車輛といった産業分野やデザイン性や嗜好性が求められる店舗、スポーツ、レジャー用品など、幅広い分野でご利用いただいています。

私たちは、企業が成長し続けるためには、企業活動に伴って発生する環境への負荷を最小限に留めることが最も重要であることを認識しています。

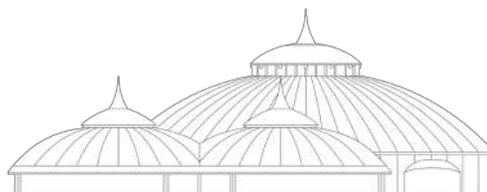
事業活動、製品、サービスから生じる環境への負荷を的確に捉え、技術的そして経済的に可能な範囲で、目的・目標を設定し、汚染の予防の継続的な維持・改善に努め、環境の保全と向上を図るため、次の施策を推進します。

1. 事業活動は環境、健康、安全に留意し、汚染予防に最善を尽くします。特に、製品の製造に伴い使用する化学物質等の取り扱い及び管理の適正化に努めます。
2. 環境に関する各法規制を遵守するとともに、自主基準、規定などを整備し、管理の一層の向上に努めます。
3. 省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の減量化などに積極的に取り組みます。
4. 環境に配慮した研究、開発、設計を行います。
5. 社員に環境教育を実施し、環境保全意識の向上に努めます。
6. 「環境基本方針」は、関連協力会社に周知すると共に外部からの要求に応じて提供します。



2019年3月導入 ガスコージェネレーション

環境中期計画



これまでの実績

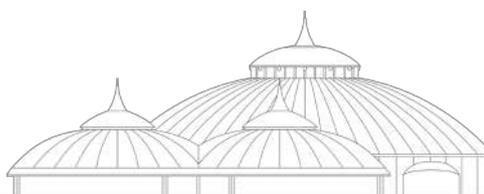
目標指数 CO2 原単位 (kg/千㎡)

	基準年度 2017年度	目標水準	2021年度 実績
草加事業所	571 kg/千㎡	2021年度までに 2017年度比 3%削減	587 kg/千㎡
滋賀(々)工場	372 kg/千㎡		367 kg/千㎡ (1.3%)

2024年度までの計画

2021年度を基準年度として2024年度までに
改めて3%削減に取り組んでまいります。

環境報告の全体像



事業活動における環境負荷実績

当社は、その事業活動において排ガス、排水、廃棄物等、様々な環境負荷の実態を正確に把握し、低減に努めています。

2022年度の事業活動におけるインプットとアウトプットは、下図のとおりとなっています。



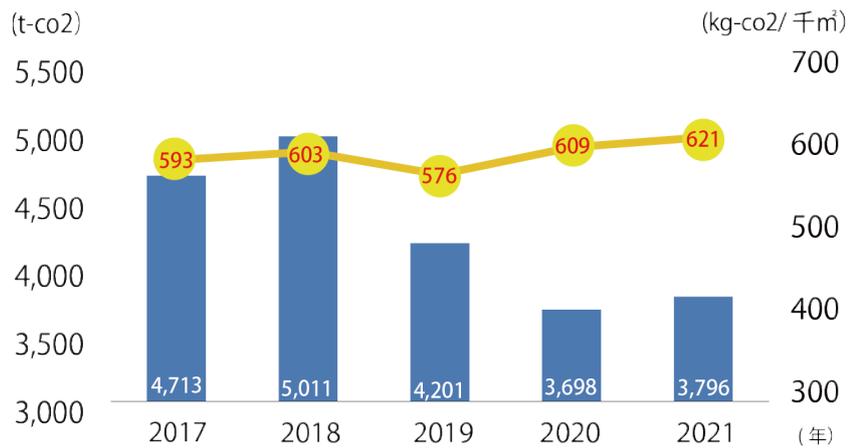
気候変動抑制への取り組み

2021年度のCO₂排出量は、前年度比9.7%増の7,355t-CO₂でした。また、「原単位排出量(生産数量当たり)」については、前年度比生産数量が10.0%増加したにもかかわらず0.3%に留まりました。その主な要因は、2020年度に比べ製造する製品分類に変化があり、生産効率が悪化したためです。当社としては新型空調設備の導入や照明のLED化など、着実に省エネを推進しています。

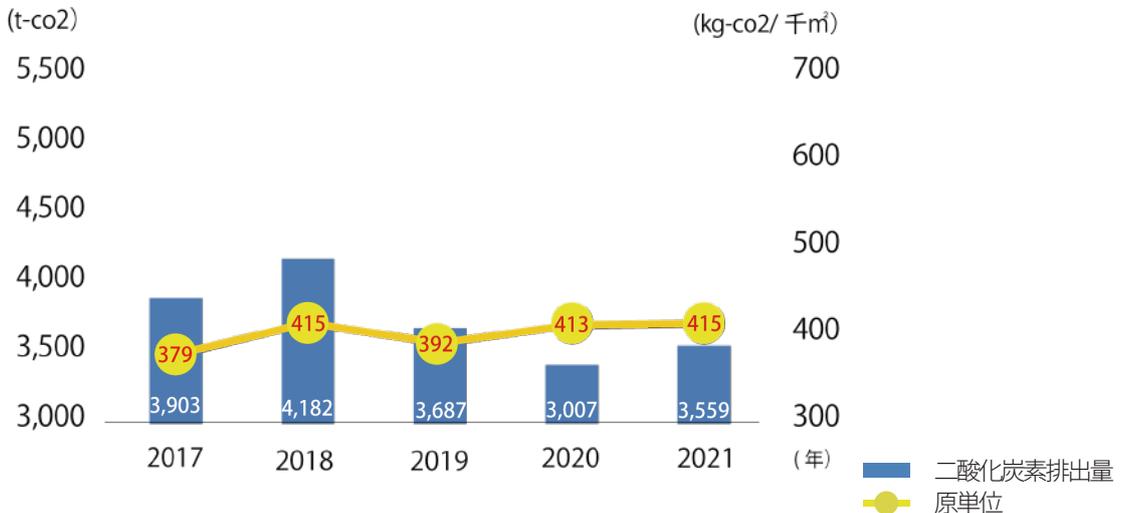
今後も成果重視の省エネテーマを模索して、CO₂排出量の削減に取り組んで参ります。

年度毎の二酸化炭素排出量

草加事業所



滋賀(夕)工場



水資源・生物多様性保全 への取り組み

◆当社対象範囲について

工場排水を行っているのは、染色を行っている草加事業所です。そのため、水質汚濁防止法の適用対象は草加事業所のみとなり、滋賀ターポリン工場は適用対象外となります。

◆草加事業所における取組状況

2018年度から硬貨袋用シートの製造中止に伴い、染色排水量が激減したことと、排水処理施設の最新型加圧凝集浮上設備へ2018年に更新したことにより、BOD^{※1}排出量が極端に減少しています。

◆周辺河川への影響状況

全国の一級河川中、これまで水質ワースト5の常連という不名誉に甘んじていた綾瀬川ですが、足立区が綾瀬川下流域1区4市の自治体に呼び掛け発足させた「綾瀬川浄化対策協議会」の働きかけもあって、過去10年間のBOD値の改善幅が最も大きく、水質が改善され環境基準をクリアするまでになりました。

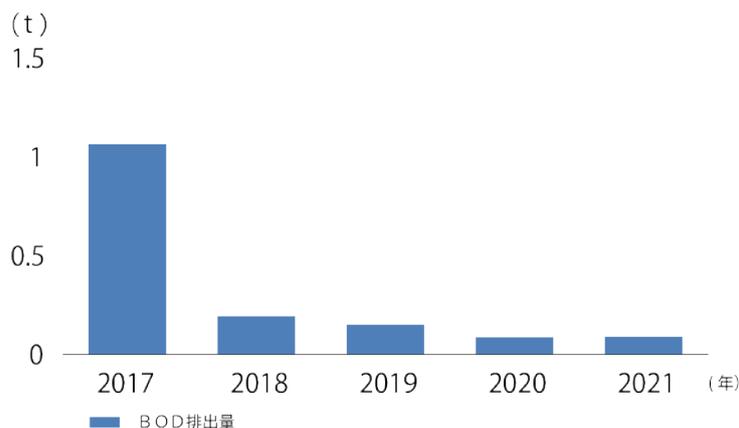
今後も引き続き、草加市下水道条例で定める下水排除基準に適合した水質維持に努めてまいります。

※1 BOD・・・Biochemical Oxygen Demand 生物化学的酸素要求量
水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものの過剰な有機物の排出が招く腐敗による酸欠により、水中の酸素（溶存酸素）が減少すれば、魚類等の好気性生物が生存できなくなり、さらになくなった場合には、いわゆる「水が腐る」状況となり悪臭等の発生に至る（魚類が生存可能な溶存酸素濃度の下限が3-5mg/Lと言われ、環境基準のC類型の基準値として採用されている）。



2018年9月導入 最新型加圧凝集浮上設備

年度毎のBOD排出量



※草加事業所では下水の水質自主検査を毎月実施しています。

資源環境 への取り組み

2021年度の産廃処分量は（全社で）997tで前年度比7.3%増加しました。生産数量が前年度比で10%増加したことが主な要因です。

一方、目標40%以上のリサイクル率は26.8%で前年度より僅かに上がりましたが目標を大きく下回っています。昨年度に続き、リサイクル業者廃業に伴う新規業者の開拓ができず、対象品の回収がなくなったことがその大きな要因です。

また、当社の製品は、少しでも長くお使いいただける設計を目指してきました。

製品を長く有効に使うことは、採取資源の付加価値を高めるとともに、リユースやリサイクルのように新たにエネルギーを投入する必要もありません。

耐久性を高めていくことは、最大のエコロジーといえるのです。

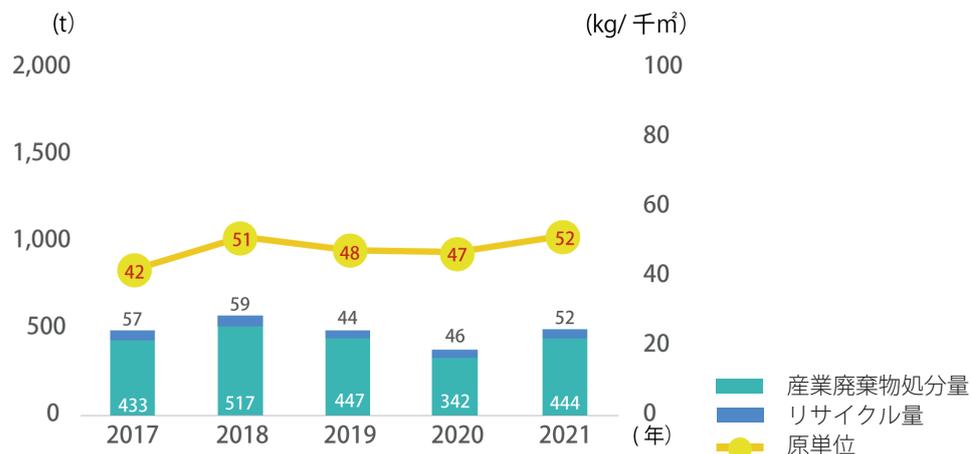
例えば、UM-200。15年たっても引張強度保持率は、基準強度の80%以上をキープします。当社の定番である帆布や養生メッシュも、更なる耐久性アップを目指し研究に取り組んでいます。

年度毎の産業廃棄物量

草加事業所



滋賀（夕）工場

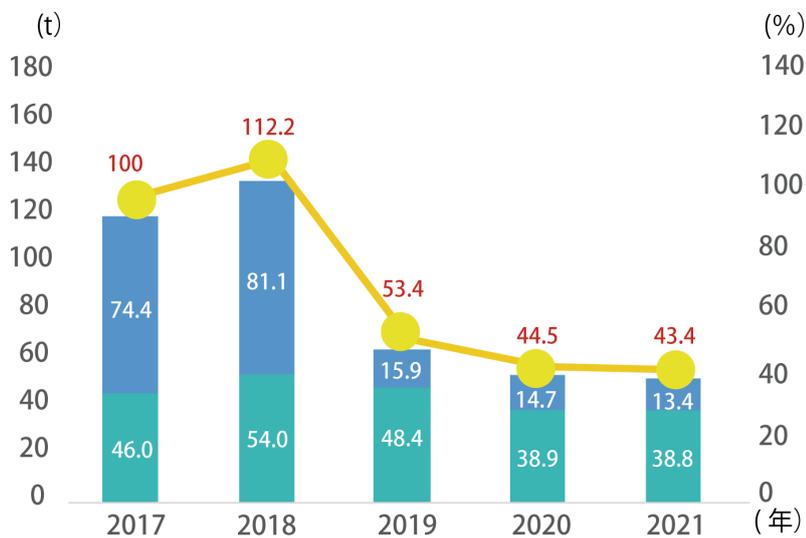


化学物質問題 への取り組み

2021年度は前年度と比較して排出量が11.5%増加し、移動量も14.1%増加しました。増加した要因として、コロナ禍から生産数量の回復（前年度比10%増）に比例して、PRTR対象物質使用量も11.7%増加したことが挙げられます。

PRTR届出量推移

草加事業所



滋賀(夕)工場



- 移動量=産廃処分量
- 排出量=大気放出量
- 排出・移動量推移= 2017年度を基準(100%)とした場合の増減

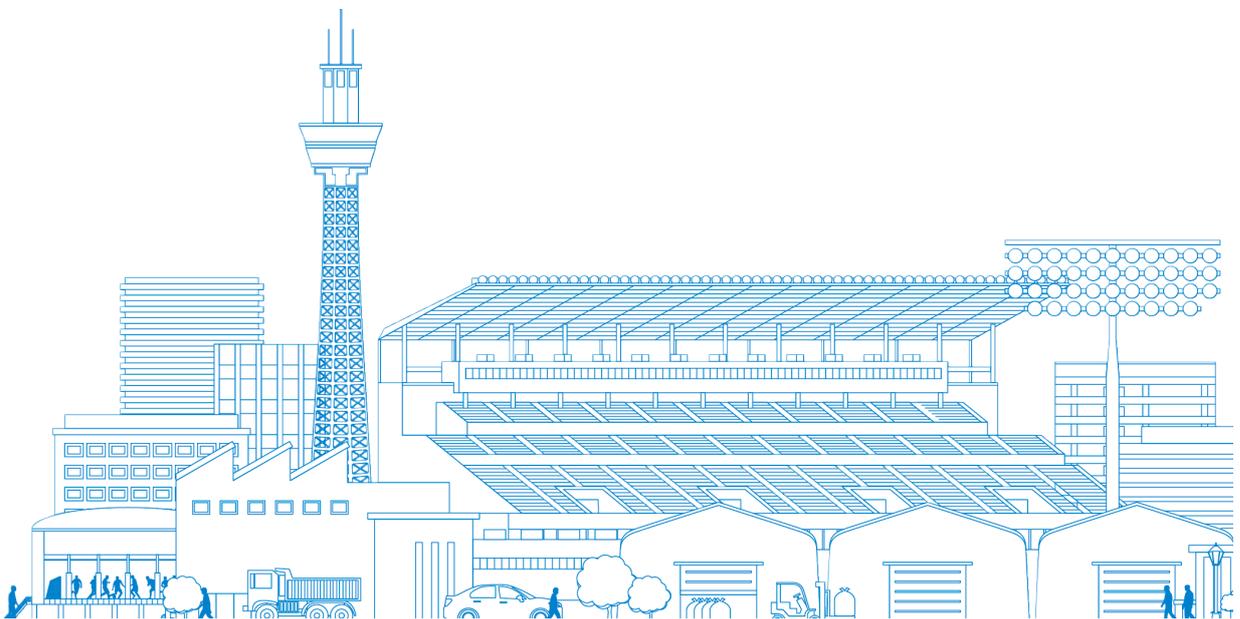
大気汚染予防への取り組み



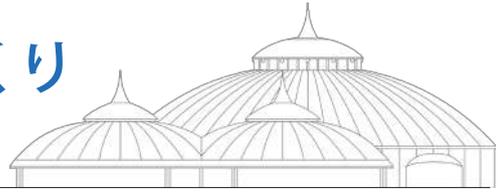
2006年8月導入 RTO

SO_x（硫黄酸化物）排出量は、ボイラ燃料の完全ガス化（A重油全廃）により、2011年1月からゼロとなっています。ばいじん排出量も、都市ガスへの燃料転換による効果で、極めて低い水準で推移しています。

揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制では、グラビア塗工機から発生する有機溶剤ガスを蓄熱式排ガス浄化装置（RTO）に導入、95%以上を燃焼処理し、大気放出量の大幅削減に貢献しています。



人と環境にやさしい製品づくり そして企業活動



2 飢餓をゼロに

飢餓をゼロに

グリーンハウス専用膜材を開発し、世界的に有名なテントメーカーに納入することを通じて、世界中で農業生産性を向上させるグリーンハウスの普及を支えています。



5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を実現しよう

セクシャルハラスメント・パワーハラスメントなどの人権侵害を予防するための社員教育を行っています。従業員、またはその家族の妊娠・出産・育児・介護・看護、その他健康状態に配慮した労働環境を整備しています。



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

エネルギーをみんなに そしてクリーンに

エネルギー使用量を把握・報告し、削減に取り組んでいます。ガス・コージェネレーションシステムを導入することにより昼夜の電源の平滑化を図りエネルギー効率を改善しています。



11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちづくりを

産業廃棄物最終処分量、発生量の削減に取り組んでいます。化学物質使用量の把握と削減に取り組んでいます。ばい煙等の監視及び測定や排気処理設備の点検を定期的に行う等、適正に管理しています。



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動に具体的な対策を

温室効果ガス排出量を把握し、環境負荷の削減に取り組んでいます。遮熱効果のあるクールマックスシリーズを商品化し、気候変動対策へ貢献しています。災害に遭遇した場合でも事業を復旧し、継続するための計画や準備に取り組んでいます。



3 すべての人に健康と福祉を

すべての人に健康と福祉を

化学物質排出移動量届出制度に基づく取り組みを行っています。燃料油、溶剤、塗料等の揮発を防止する等、VOCの排出抑制に取り組んでいます。大気汚染の少ないプロセスや都市ガス燃料を採用しています。



6 安全な水とトイレを世界中に

安全な水とトイレを世界中に

水質汚濁の少ないプロセスや機器を採用しています。排水処理装置を適切に設置し、排水等の監視及び測定や排水処理設備の点検を定期的に行い、適正に管理しています。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業と技術革新の基盤をつくろう

製品の同一機能に対して資源使用量のミニマム化を指向しています。また、製品の長寿命化を指向しています。産学官連携を行っております。



12 つくる責任 つかう責任

つくる責任 つかう責任

分別回収ボックスの適正配置により、ごみの分別を徹底しています。溶剤回収システムを導入し大気への放出を最小限に抑えています。製品のライフサイクル長寿化に常に取り組んでおり、廃棄物の削減を図っています。

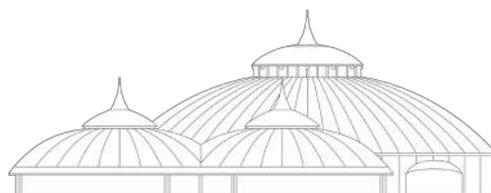


14 海の豊かさを守ろう

海の豊かさを守ろう

魚介類の養殖用に無毒ターポリンを提供しています。栽培漁業に使用される膜材を提供しています。

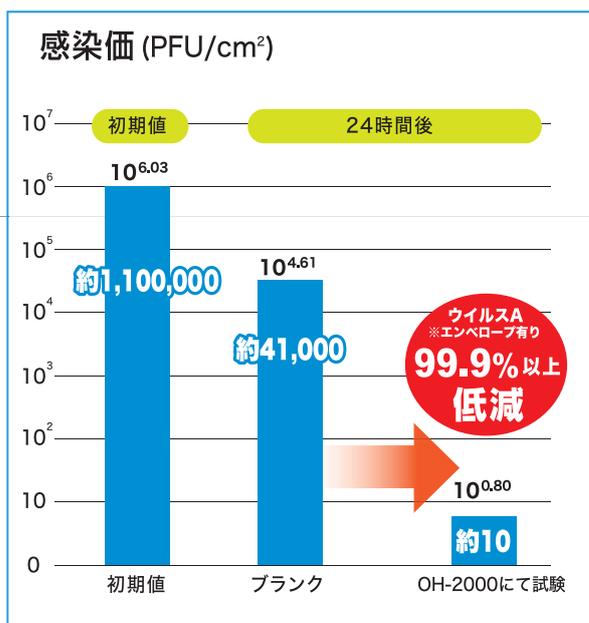
環境配慮製品



当社は、開発する製品に対し環境負荷低減を追求しエコプロダクツ（環境配慮型製品）の開発に取り組んでいます。

抗ウイルス性能ターポリン エコターポ® 非塩ビ カラーシリーズ

環境配慮製品



特徴

- 抗ウイルス
 - ・付着したウイルス※を99.9%以上低減します。
 - ※ウイルスA（エンベロープ有り）
- 軽量
 - ・塩ビシートに比べ軽量。（当社比約30%軽量）
- 食品衛生法（平成18年厚生労働省告示201号）適合品
- RoHS2指令適合品
- 環境
 - ・燃えた時にダイオキシンが発生する原因となる材料を含んでいません。

・試験方法：ISO 21702:2019
 ・試験機関：一般財団法人 ニッセケン品質評価センター
 ※数値は測定値であり、保証値ではありません。

抗ウイルスについて

- ・上記試験はウイルスA(エンベロープ有り)についてのデータです。
- ・全てのウイルスに対して効果のあるものではありません。
- ・本製品は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、医薬品や医療機器などの医療を目的としたものではありません。

用途 各種カバー類、袋物、パイプテント等 **材質** 基布:ポリエステル100% 樹脂:ポリオレフィン系

OH-1000(非塩ビ 非防炎タイプ)



ホワイト

OH-2000(非塩ビ 非防炎タイプ)



ホワイト



レッド



ブルー



グリーン



イエロー



ブラック

※上記の色見本は、出荷時の現物の色相と異なります。予めご了承ください。
 ※製品ラインナップにはシルバーがありますが、対象外です。

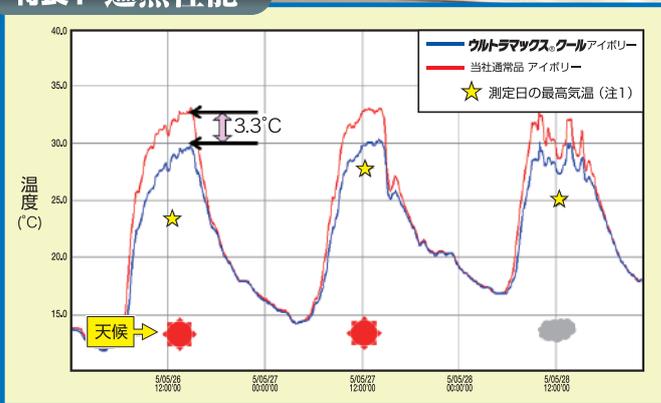
テント倉庫膜材料



ウルトラマックス クール

製品規格：103cm 巾 × 50m 乱
 203cm 巾 × 50m 乱 (アイボリーのみ)
 質量：560g/m² 厚さ：0.47mm
 色相：アイボリー、グレー

特長1 遮熱性能



特長2 耐候劣化抑制

キセノン 10年相当耐候促進後の表面状態



当社通常品
 ・表面にひび割れ発生、光沢感なし
 ・厚紙のような状態でもよい

ウルトラマックス・クール
 ・表面は平滑
 ・多少硬くはなるが光沢感あり

遮熱性

当社通常品よりも

約 **3.3°C**
 涼しい (注2)

耐候性

耐候促進 (キセノン10年相当)
 残存引張強度保持率
 当社通常品よりも

10%以上
 UP! (注2)

(注1) 1間 × 1.5間のテント倉庫にて地上から1.7m地点で温度測定を行った結果です。

(注2) 測定実績値であり、保証値ではございません。



平岡織染株式会社

抗菌・抗ウイルスターポリン

ターポキャンパス® 4400VC

用途 カーテン、間仕切り、フロアシート、横幕、
各種カバー類、袋物



材質 基布：ポリエステル
樹脂：ポリ塩化ビニル (PVC)

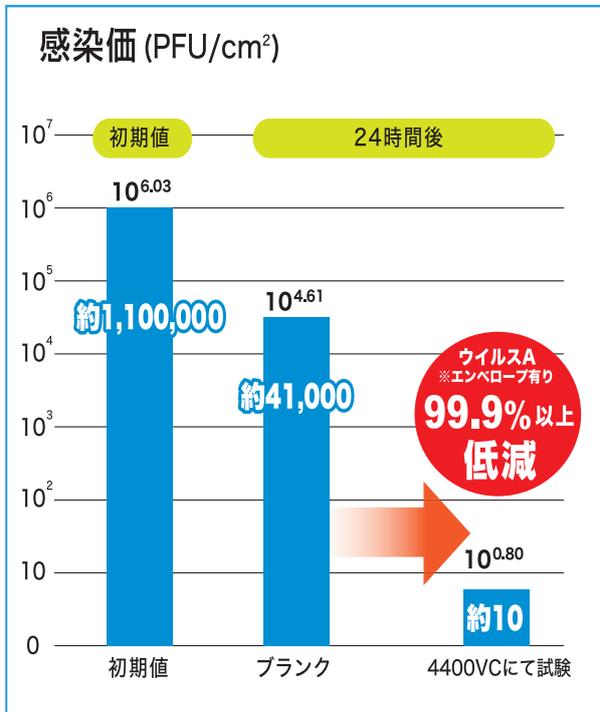
(特徴)

- 抗ウイルス性能
- 抗菌性能
- 溶着性能
- 防炎性
- RoHS 2 指令適合品

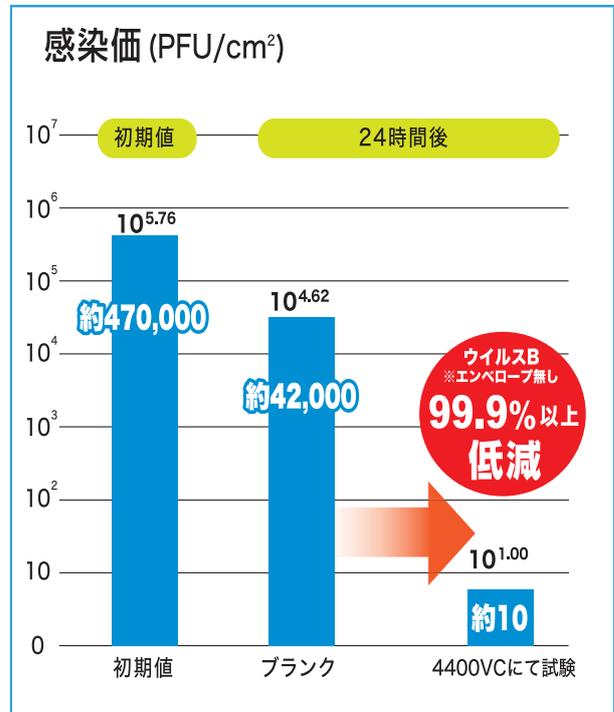
抗ウイルス性能試験

・試験方法：ISO 21702:2019
・試験機関：一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター
※数値は測定値であり、保証値ではありません。

ウイルスA (エンベロープ有り)



ウイルスB (エンベロープ無し)



薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）によりウイルス名が表記できないためウイルスA、ウイルスBと記載

抗ウイルスについて

- ・全てのウイルスに対して効果のあるものではありません。
- ・本製品は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、医療品や医療機器などの医療を目的としたものではありません。

抗菌・抗ウイルスターポリン

クリスタルターポ CT-1030-9

用途 カーテン、間仕切り、各種カバー

材質 基布：ポリエステル100%
樹脂：ポリ塩化ビニル (PVC)



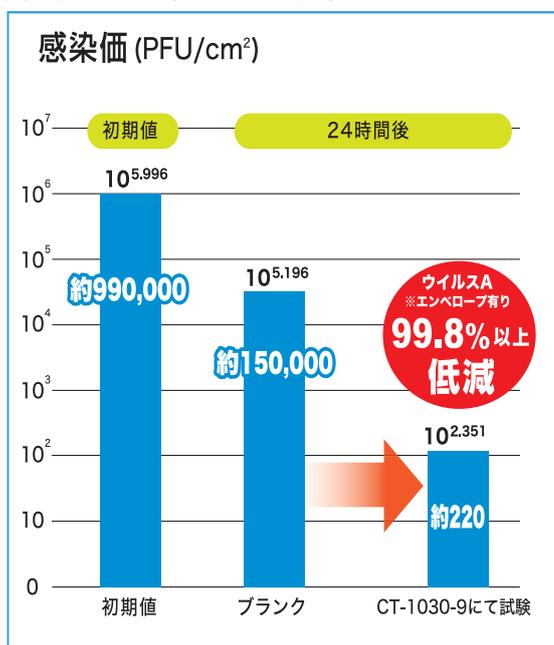
(特 徴)

- 抗ウイルス性能
- 帯電防止
- 防災性
- 抗菌性能
- 溶着性能
- RoHS 2 指令適合品

抗ウイルス性能試験

- ・試験方法：ISO 21702:2019
- ・試験機関：一般財団法人 ニッセンケン品質評価センター
- ※数値は測定値であり、保証値ではありません。

ウイルスA (エンベロープ有り)



薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）によりウイルス名が表記できないためウイルスAと記載

抗ウイルスについて

- ・全てのウイルスに対して効果のあるものではありません。
- ・本製品は、病気の治療や予防を目的とするものではありません。また、医療品や医療機器などの医療を目的としたものではありません。

※クリスタルターポCT-1030-9は屋内用防災間仕切りシートとして開発された製品ですので、ご使用の際は注意願います。

※タック防止のためスターチ（でんぶん）を表面に塗布しております。使用上問題があるような場合には事前に拭き取って頂けますようお願い致します。

両面印刷用遮光ターポリン



アドマックス® SJT-V200FD

製品規格 : 137cm 巾 × 25m 巻 質量 : 480g/m²
188cm 巾 × 40m 巻 厚さ : 0.34mm

特長1

カール大幅軽減!

片面印刷での比較 (吊り下げ 1週間経過)



従来品

カール発生



SJT-V200FD

カールほとんど無し

特長2

軽量化!

	厚さ	質量
SJT-V200FD	0.34mm	480g/m ²
従来品	0.42mm	540g/m ²

特長3

フラット化!

従来の両面印刷用ターポリンと比較し、表裏の凹凸差を軽減しました。

裏面もフラットになることで、表面と近い印刷外観になります。

特長4

従来の両面印刷用ターポリンと比較し、有機量を30%抑えてるため焼却時のCO₂の発生を抑えます。

